



たづがね

(鵜が音)

「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

学校の新しい生活様式の始まり

6月1日(月)通常通りの日課で授業をしました。1,2年生は5限まで、3年生以上は6限までの授業でしたが最後まで集中して学習に取り組むことができる児童が多かったです。臨時休業中におきましては、保護者の皆様には学校の対応等についてご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。みなさまのおかげで学校に子どもたちの笑顔が戻ってまいりました。さて、「ウィズ・コロナ」という言葉とともに学校においても新しい生活様式が始まりました。感染レベルを可能な限り低減させながら学校教育活動は継続していきます。学校行事とともに音楽や家庭科、体育などの中には実施することを検討する学習内容も示されました。この点については本校の実態を十分に見極めながら実施していきたいと考えております。



こまめな手洗い



間隔をあけて会話なしの給食



毎朝の検温カードチェック

また、すべての学級において「新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見」について考え、適切な行動をとることができるよう指導を行いました。

児童がこれらの新しい生活様式を正しく理解し、日常生活にも生かすことができるよう努めて参りたいと考えています。



マスクを外して体育

保健室の先生紹介



6月1日より小黒 有璃(おぐろ ゆり)先生が保健室を

担当します。文後先生は出産のためお休みします。児童の体と心の健康を支えてくださります。相談事などありましたら、お問い合わせください。